

衆議院議長 殿
参議院議長 殿

国の責任による35人以下学級の前進、教職員定数増、教育無償化、教育条件の改善を！

2020年度すべての子どもたちにゆきとどいた教育を求める全国署名

新型コロナウイルス感染症の拡大により、約3カ月にわたる臨時休校が行われ、子どもたちのいのちと健康を守ることと学習権を保障することが大きな課題になりました。学校を再開するにあたり、感染拡大防止対策として教室の「密」を避けるため、現行の40人学級では子どもたちのいのちと健康を守ることができません。教室に社会的距離を確保するには「20人以下学級」を展望した少人数学級の前進がもめられています。今こそ国が責任をもって少人数学級を実現する時です。

大きな課題である教職員の長時間過密労働解消に向けて、最も必要なことは教職員を増やすことと、少人数学級をすすめることです。義務・高校標準法を改正し抜本的な教職員定数改善をおこなうことが必要です。同時に、私学の教職員数を増やせるよう私立高校等経常費助成補助の大幅増額も必要です。

憲法と子どもの権利条約が生きて輝く学校づくりをすすめるために、すべての子どもにゆきとどいた教育を実現する教育条件整備を以下のようにお願いします。

請 願 事 項

1. 新型コロナウイルス感染から子どもたちのいのちと健康を守るとともに、学ぶ権利を保障するため、教育条件整備に全力をあげてください。
2. 教育予算をOECD諸国並みに計画的に増やし、ゆきとどいた教育条件整備をすすめてください。
3. 国の責任で小・中学校、高等学校の35人以下学級を一刻も早く実現し、「20人以下学級」を展望した少人数学級をすすめてください。また、幼稚園や特別支援学級・学校の学級編制標準の引き下げをすすめてください。
4. 義務・高校標準法を改正し抜本的な教職員定数改善をすすめてください。
5. 教育費の保護者負担を軽減するとともに教育無償化をすすめてください。
 - (1) 高校・大学等の学費無償化と高校生・大学生等への給付奨学金制度の拡充をすすめてください。
 - (2) 私学助成国庫補助の増額と就学支援金拡充で学費の公私間格差をなくしてください。
6. 公立・私立ともに豊かな環境のもとで学べるよう、教育条件や施設の改善をすすめてください。
 - (1) 特別支援学校にだけない「設置基準」を策定し、学校の新設・増設をすすめてください。
 - (2) 学校の耐震化をすすめるとともに、洋式トイレや教室のエアコンの普及をすすめてください。
7. 東日本大震災などの地震や自然災害、福島原発事故の被害を受けた子どもを守り、学校と地域の要望を反映した復旧・復興をすすめてください。

※家族署名などの場合、名前(姓)や住所を「〃」のように省略せずに記入してください。

氏 名 (フルネームで)	住 所 (〇〇県△△市□□町1丁目2-3 ← 番地までお書きください)
	茨城県
	茨城県
	茨城県
	茨城県
	茨城県

*この署名簿は、個人情報保護法に基づき、目的以外には使用しません。

取扱い 団 体	民主教育をすすめる茨城県民会議 〒310-0853 茨城県水戸市平須町1-93 (茨高教組書記局内) Tel 029-305-3075
------------	---------------------------------------------------------------------------

茨城県議会議長 殿

教育格差をなくし、子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願署名

子どもたち一人ひとりに確かな基礎学力をつけ、豊かな人間関係を育むためには、何よりもゆとりある学習環境、教育条件の整備が必要です。とりわけ、子どもの発達を保障するためには「少人数学級」の実施が緊急の課題となっています。

この観点から、これまで各都道府県は、様々な形で独自の施策を実施してきました。本県においても、2018年度から茨城方式の35人学級が中学3年生にまで拡大されました。多くの県民は高等学校までの少人数学級の拡大を期待しております。

社会に広がる経済格差が、子どもの生活や学習に大きな影響をあたえ、子どもの成長と将来に大きな影を落としています。家庭の経済状況や住んでいる地域によって、子どもの進路が狭まることのないよう、更なる県立高等学校の統廃合や入学時および進級時における学級削減を取りやめ、過疎地域の高校や定員割れした高校、フレックススクール、定時制高校の先行的少人数学級を実現してください。

全ての子どもが安心して学校生活をおくれるよう、ゆきとどいた教育条件の整備のために教育予算を大幅に増やしてください。

請 願 事 項

1. 教員を増やし、学校予算を増額してください。
2. 小学校、中学校、高等学校の30人以下学級を早期に実現してください。
3. 小学校、中学校、高等学校の統廃合を行わないでください。
4. 教育費の父母負担軽減、私学助成を増額するなど、教育予算を大幅に増やしてください。
5. 夜間定時制高校、フレックススクールの教育条件（教員の加配、学校予算の増額など）を充実してください。

※家族署名などの場合、名前(姓)や住所を「〃」のように省略せずに記入してください。

氏 名 (フルネームで)	住 所 (〇〇県△△市□□町1丁目2-3 ← 番地までお書きください)
	茨城県
	茨城県
	茨城県
	茨城県
	茨城県

*この署名簿は、個人情報保護法に基づき、目的以外には使用しません。

取扱い 団 体	民主教育をすすめる茨城県民会議 〒310-0853 茨城県水戸市平須町1-93 (茨高教組書記局内) Tel 029-305-3075
------------	----------------------------------------------------------------------------------